



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the CSR
Mar.2018

INDEX

1. サンシングループの経営理念とCSR
2. 管理会計をもちいた経営戦略
3. TOP MESSAGE
4. グループ社員による今月のつぶやき
5. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
6. サンシングループの企業行動基準
7. 未来形から問題を解決するソウレンホウ
8. CSR Report (品質)
9. CSR Report (環境)
10. CSR Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers

We're loved by our customers

*Always be a Virtuous **Shonin***

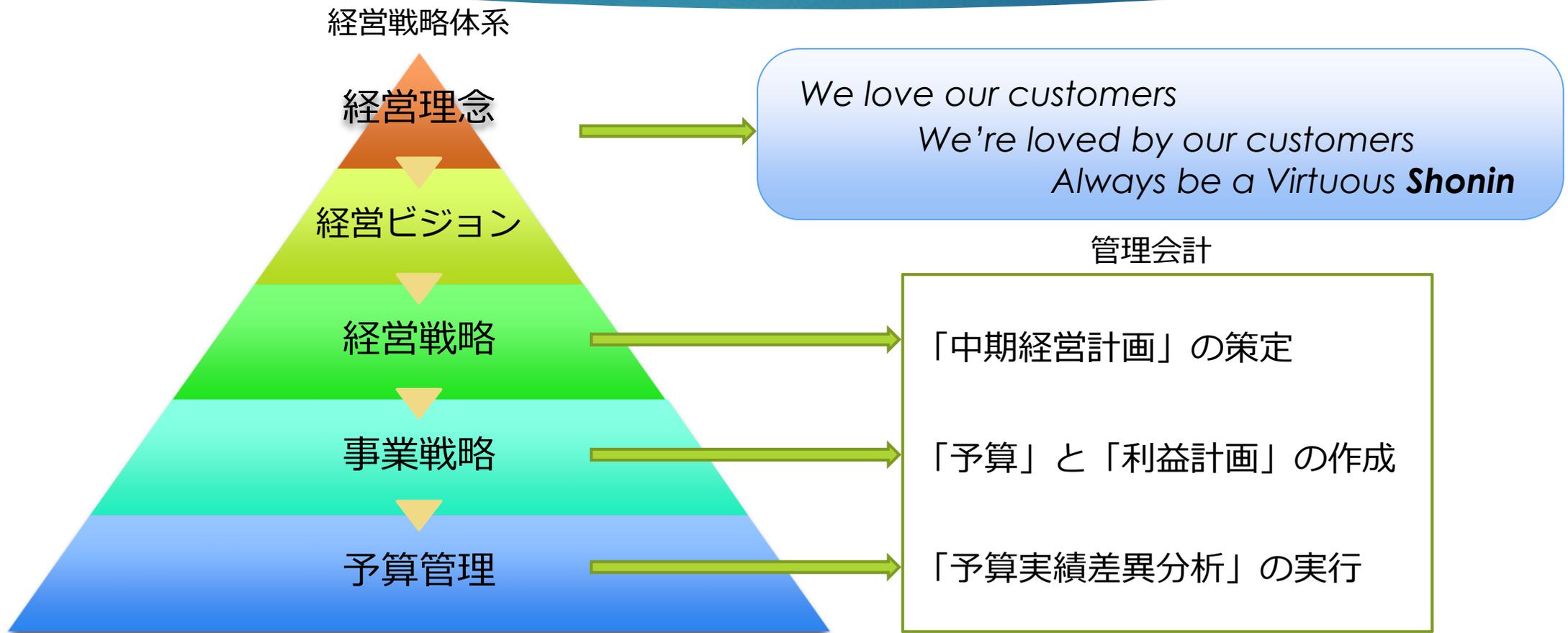
Virtue as a Shonin

It is important for us to have Virtue as a *Shonin* in order to secure our customers' approval and support at all times.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステークホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

管理会計をもちいた経営戦略



TOP MESSAGE

環境に係るコンプライアンス基準は、COP→EU基準→環境マネジメントシステム、という入れ子構造になっている。しかしながら、最上位概念のCOPでは政治絡みで足並み乱れ、EU基準を米国などは無視、環境マネジメントシステムは民間企業頼みである。このように民間企業が自主的にコストをかけ、コンプライアンスを実施しているのだが、入れ子構造が崩れているなかで、このコンプライアンスに意味はあるのであろうか。環境保全について行政がとやかく言うのであれば、環境マネジメントシステム実施会社に具体的インセンティブ、税制優遇などを与えるべきである。

SANSHIN GROUP C.E.O.

石井 宏宗

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

1年間に日本で捨てられる食べ物（食べられるのに捨てられる食品ロス）の量は600万トンを超えており、賞味期限切れが廃棄の大半の理由のようです。賞味期限はあくまでおいしさの目安で、短めに設定されていることが多いとのこと。スーパー等で、ただ単に賞味期限の日付の近い/遠いを見て判断するのではなく、食べきる日を考えて買い物をするのが大切と改めて思いました。（H.K.）

SANSHINCentre

セブンイレブンがトヨタの燃料電池車を導入する記事を読みました。トヨタ自動車は、日野自動車のトラックをベースとする燃料電池車を開発してセブンイレブンへ供給し、2019年より共同で、物流と店舗における「省エネルギー」「二酸化炭素排出削減」「低炭素社会」「水素社会」に向けた実証実験を開始することのこと。燃料電池車の普及について注視していきたいと思えます。（M.M.）

CSI

セブは夏に向かっていきます。（年中夏ですが）晴天時の直射日光は肌が痛くなる程です。乾期に入るのでありますが、雨が良く降ります。日照が無い雨天時は結構肌寒い程です。1日の中での気温差が激しいので、風邪を引かない様に注意しております。（K.S.）

SC2

桜の開花宣言が出ましたね。東京の標準木は靖国神社にあります。この桜は古木のようなので、桜は樹齢が上がると花が早く咲いてしまうので、標準木としてはどうなのか、というところですね。平成が終わる頃、標準木のバトンタッチも静かに行われるのかもしれないね。（M.I.）

SANSHINWest

企業のリサイクル事業の新聞記事が目に残りました。日頃、購入したものを廃棄することに対して、本当に別の価値はないのか、別の使い方があれば捨てずに済むのではないかと考えさせられます。モノが回る世の中をより意識していきたいです。（S.Y.）

SHINKOWA

ようやく春めいた日が多くなってきました。工場敷地でモグラの掘るトンネルが縦横無尽に走っています。朝・晩はまだ冷えますが、これからはエアコン使用も控え目に使用できる季節になりますので、使用電力を抑えてエアコンを使用して行きます。（M.N.）

SANSHIN HongKong

Lunar New Year is an Traditional Festival in Chinese society, People will decorate their room with difference flower and Lucky message which is write on the red paper which means bring the lucky & fortune into family for a whole year. After festival, HK government & NGO organize difference programs to citizens for reuse and recycle. (S.M.)

SFS

私たちの潜在意識にはあらゆるリソースが眠っていますが、普通にしているでもそれを見ることはできません。自分の可能性を可視化する数少ない技法、箱庭セラピーのワークショップを開催いたします。4月13日（金）平日の午前中ですが、参加希望の方がいらっしゃいましたらぜひお越しください。（M.I.）

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



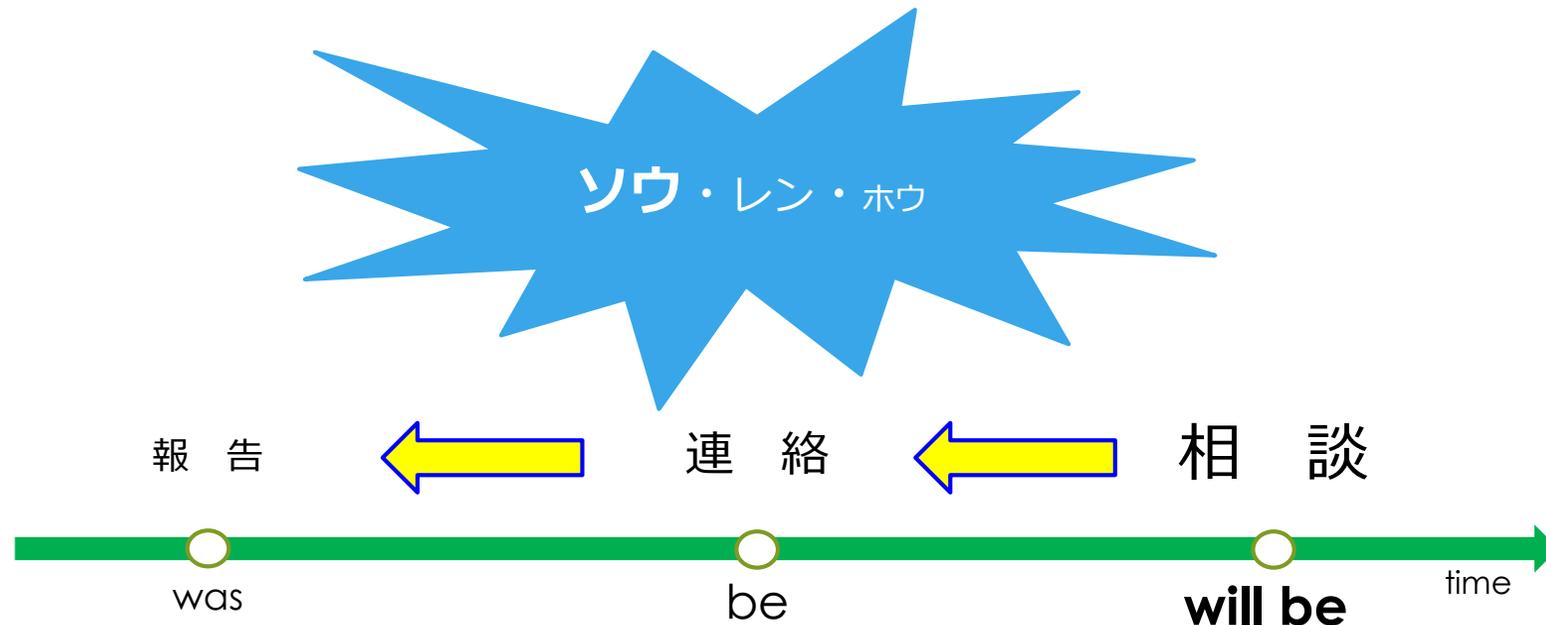
サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



CSR Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

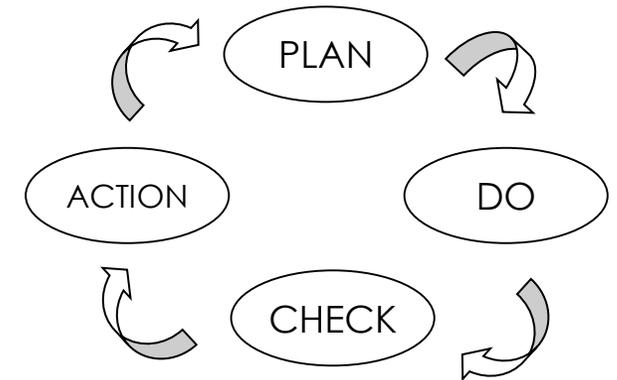
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

TOPICS 手づくり志向の時代にあえてコンピュータ制御で



手づくり志向の時代にあえてコンピュータ制御で酒造り、蔵人たちが汗を流しながら蒸した酒米を運んだり、醪の入ったタンクに櫂棒を入れている。確かにそれは酒造りの世界にある。しかしほとんど人を介さず、コンピュータでしっかりと酒を醸す蔵もある。

■「手造りだから良い」という固定概念を覆す

佐渡島の天領盃酒造はまさに、コンピュータ管理で酒造りをする。酒造りは昔から杜氏と呼ばれる職人の、長年にわたる経験と勘により継承されたものです。それにコンピュータを導入することで、杜氏の持つ経験と勘を具体的に数値化し、高品質で衛生面もクリアした安定的な酒造りを行っています。年間800石の蔵が蔵人4人でまわっているというのも、コンピュータがあるからこそです。

■自社精米で米の質を維持

酒蔵関係者は酒の原料となる酒米はとことんこだわりを持つ。原料の状態に合わせて温度湿度を調整し、その原料にあったプログラムを入力。より良い状態で精米行程を進めることができます。じつはこれが一番要であり、粉碎した原料が混ざると雑味の原因になる。

■微生物が過ごしやすい環境を整える

自社精米機だけではなく麴造りも仕込みも全てコンピュータを使った機械仕込みを行っている。それは麴や醪をできるだけ雑菌に触れさせないようにするため。もちろん麴の香りや手触りなど人でなければ見極められない部分は人が随時判断を行う。

■最良とは何かを突き詰めてコンピュータ制御に

人が関わらないということはそれだけクリーンな環境下が保たれるということ。酒は生き物、酒を造り出すのは麴菌や酵母という微生物であることを念頭に環境を作る。原料の状態、その日の気温室温、天気をきちんと把握し緻密に計算、計画して造る。そして造り出した酒をきちんと取り上げ管理する。

味に妥協せず、最高の原料をもって最高の品質の天領盃の酒を醸すべく仕込んでいる蔵元のこだわりです。

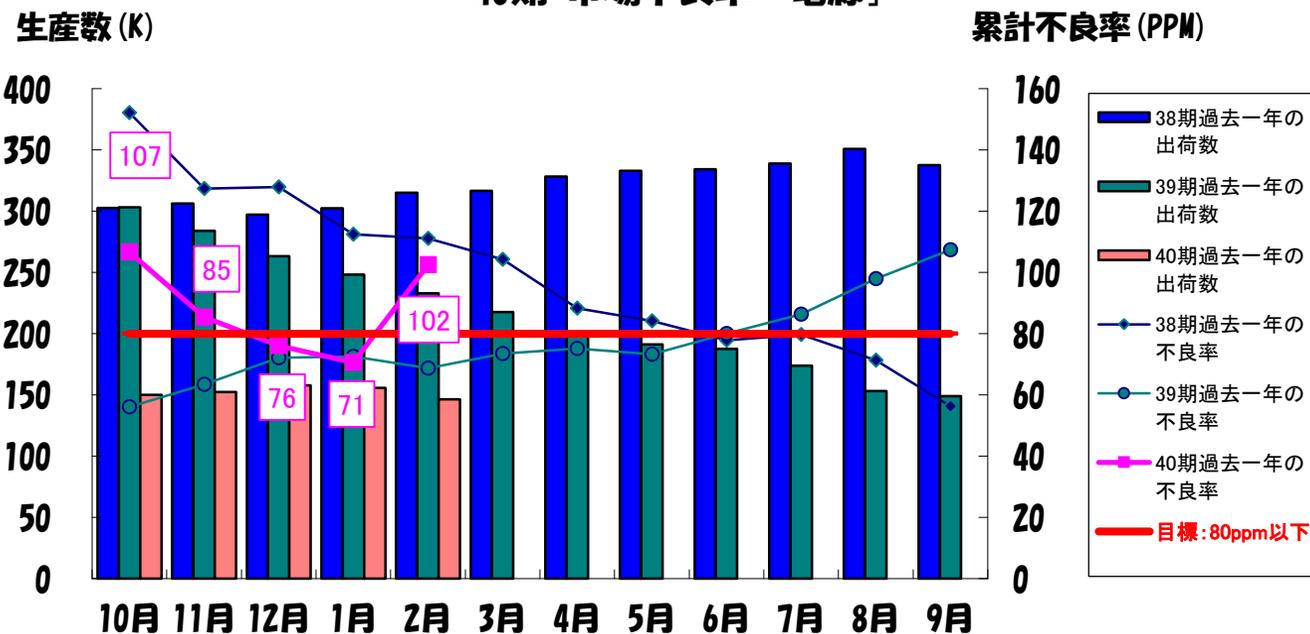
品質状況

納入不良率 目標.....80ppm

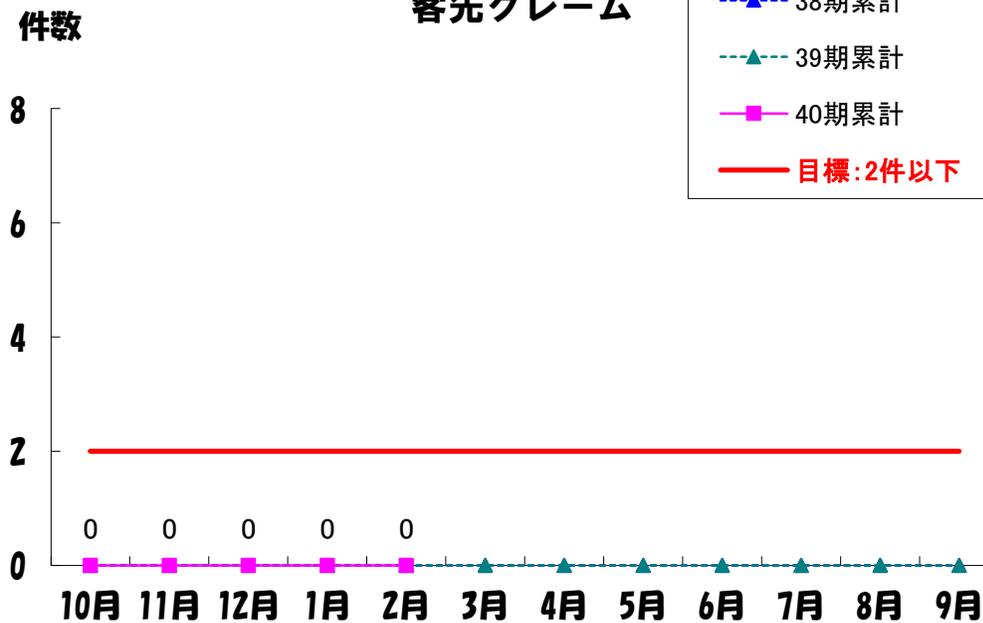
40期の累計不良率は、102ppm です。

市場不良累計(過去1年分) : 15件 客先クレーム : 0件

40期 市場不良率「電源」



客先クレーム



活動報告 (SALES CENTRE NAGOYA PJT)

■メッセナゴヤ2017に参加致しました

メッセナゴヤは、愛知万博の理念(環境、科学技術、国際交流)を継承する事業として2006年にスタートした「異業種交流の祭典」です。業種や業態の枠を超え、幅広い分野・地域からの出展を募り、出展者と来場者相互の取引拡大、情報発信、異業種交流を図る日本最大級のビジネス展示会です。

今回初めて参加し感じたことはTOYOTA関連の企業が多く、多くの企業が生き生きとしている姿がとても印象に残りました。

私は新規開拓や新たなビジネスパートナーを求めての参加となりましたが、これから注目されている医療や介護に特化した地元企業などが印象に残りました。名刺交換をきっかけに電話やメールにてコンタクトし、新規顧客の開拓を進めて行く次第です。

また現在取引している顧客も多く出展されており、面識のある設計担当者様や購買担当者様ともお会いすることができ、とても有意義な一日となりました。

今後も時間を作って展示会へ参加し、新規顧客の開拓を進めていきたいと思えます。

SALES CENTRE NAGOYA PJT
武藤 正樹

CSR Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②TOPICS
- ③廃棄物排出量
- ④コピー用紙使用量
- ⑤電力使用量
- ⑥切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



TOPICS

□ カーリングの「ストーン」と「墓石」の意外な関係

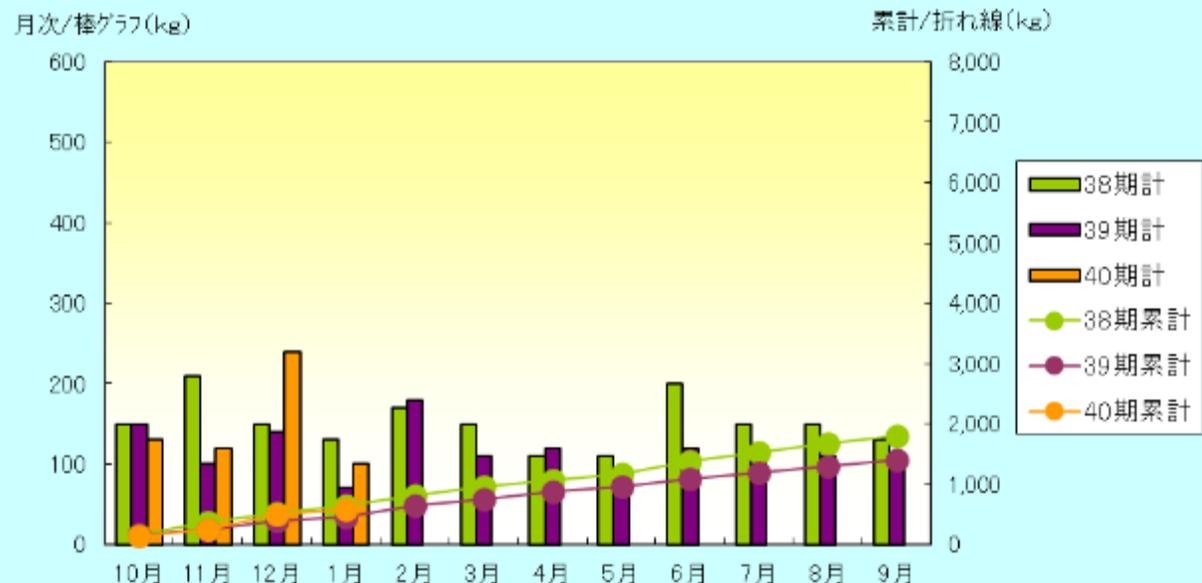
平昌オリンピックでの女子チームの記憶に新しいカーリング、「氷上のチェス」とも称される知的なチームスポーツで、40メートルほど離れた円をめがけて石を滑らせ、その数や位置によって得点を競い合います。投げられる石は直径30cm・重さ20kgほどの大きさ。ずばり「ストーン」と呼ばれています。

この「ストーン」、日本では古くからお墓の石として使われている花崗岩（御影石）で出来ています。国際大会で使用されるストーンの産地はカーリング発祥の地、スコットランドのアルサクレイグ島で採れる花崗岩のみで、この島で採れる花崗岩は耐久性に優れ、密度も高いそうです。希少なカーリングストーン、石は天然のものなので、そのうちなくなってしまいそうですが、スコットランドではこの石を保護するために20年に1度しか採掘してはいけない決まりがあるそうです。そのせいもあってか1個当たり10万円ほどもするそうです。2チームが8投ずつするゲームなので、1試合に16個のストーンが必要となり、何と1セットで160万円... 同じ花崗岩でもお墓より遙かに高価です。

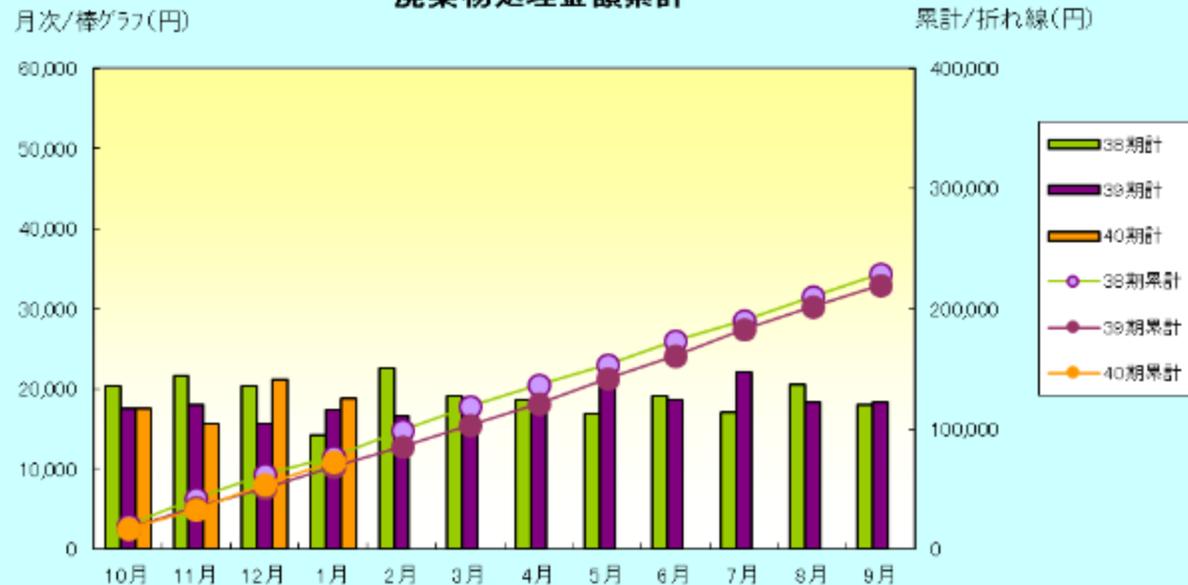
なお、耐用年数は100年を超えるそうで、さすがは花崗岩、墓石に使われるのも納得です。



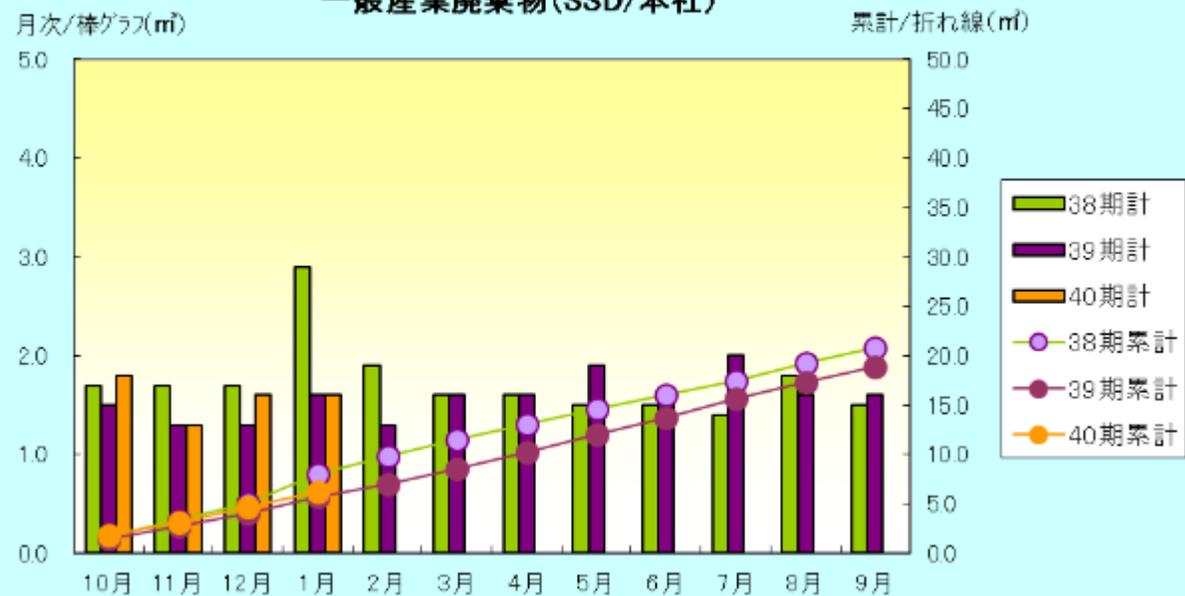
一般廃棄物(SSD/本社)



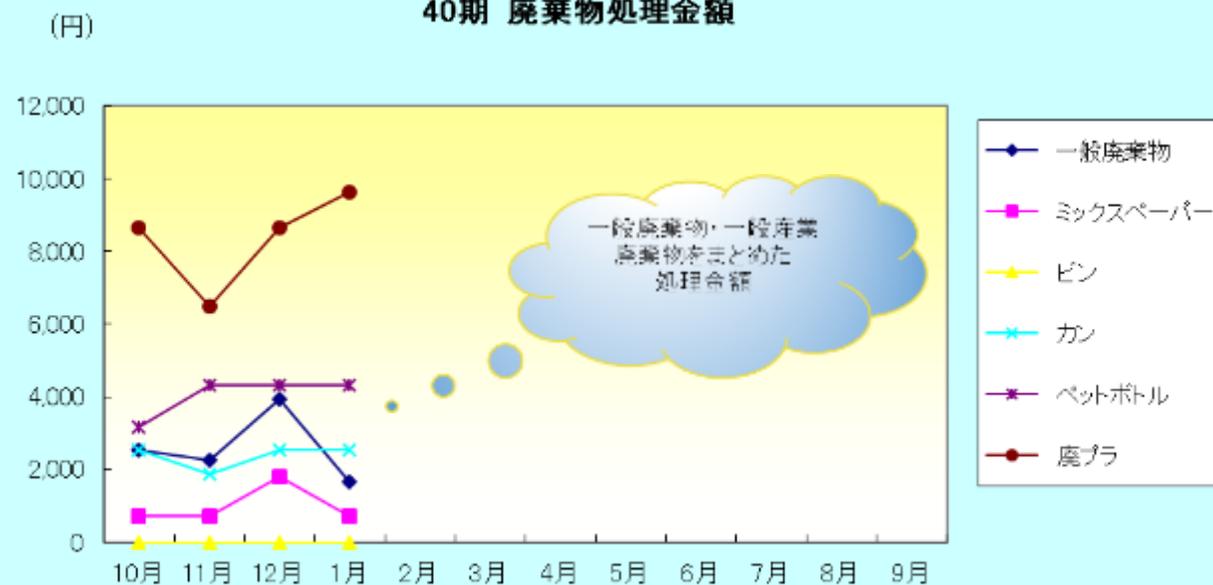
廃棄物処理金額累計



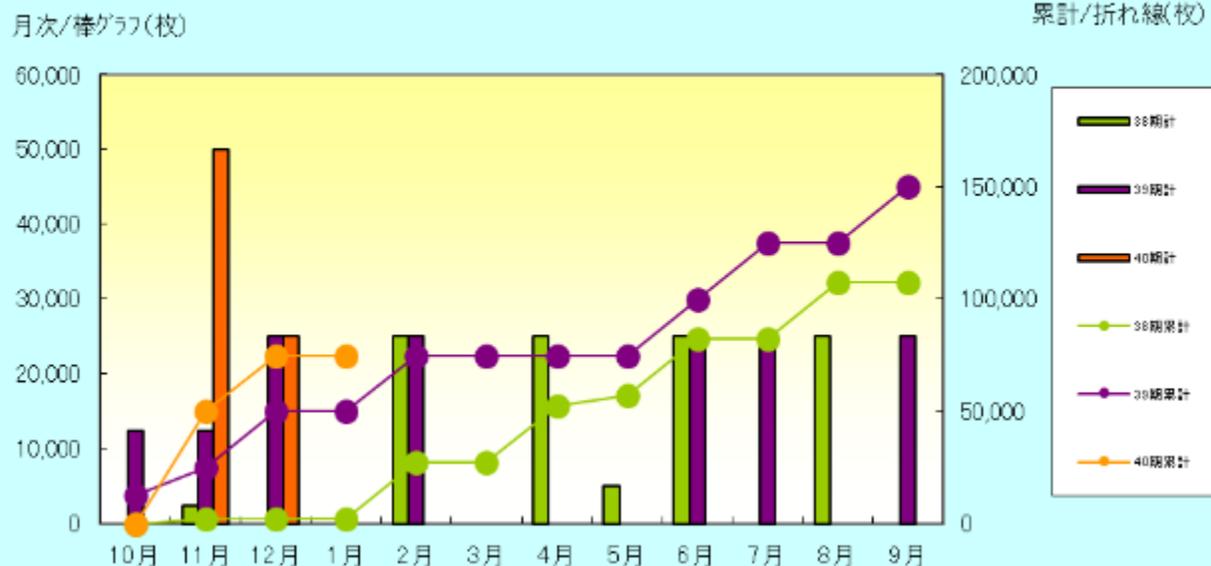
一般産業廃棄物(SSD/本社)



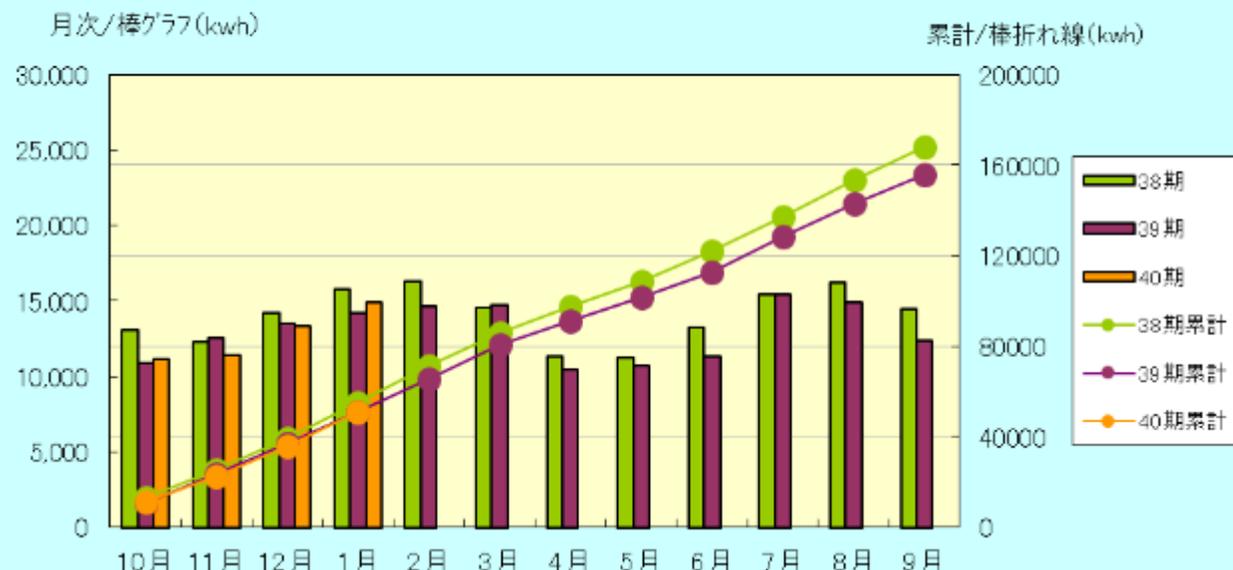
40期 廃棄物処理金額



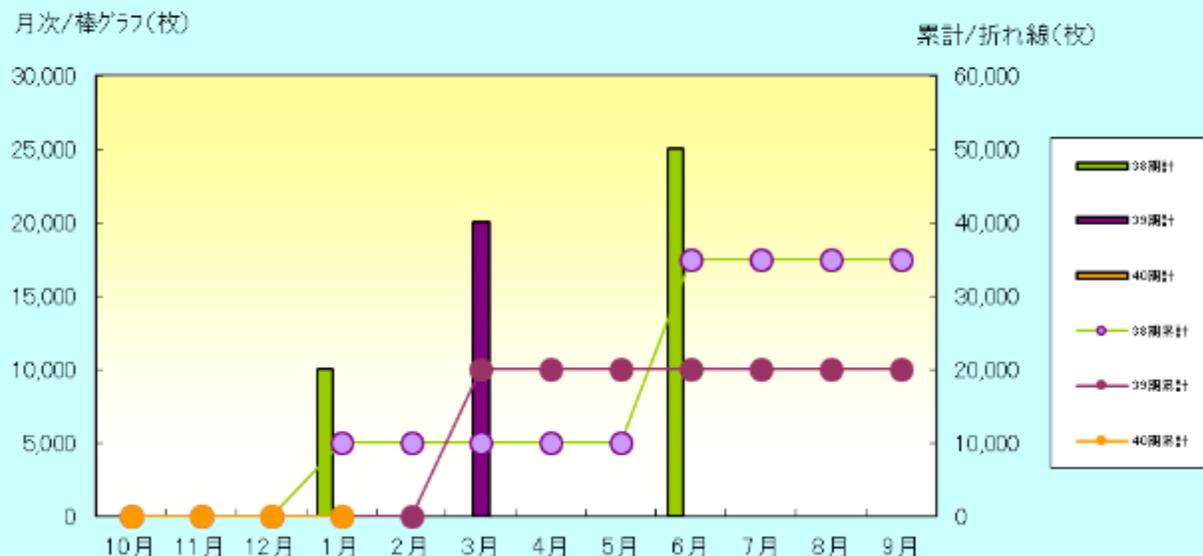
コピー用紙購入量(SSD/本社)



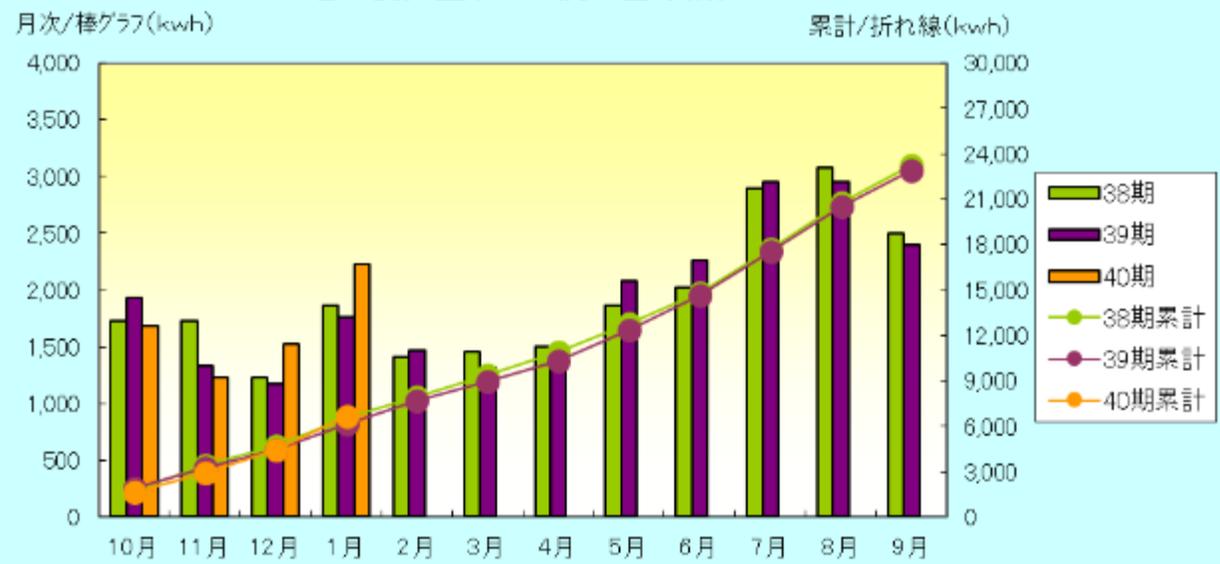
電力使用量(SSD/本社)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)



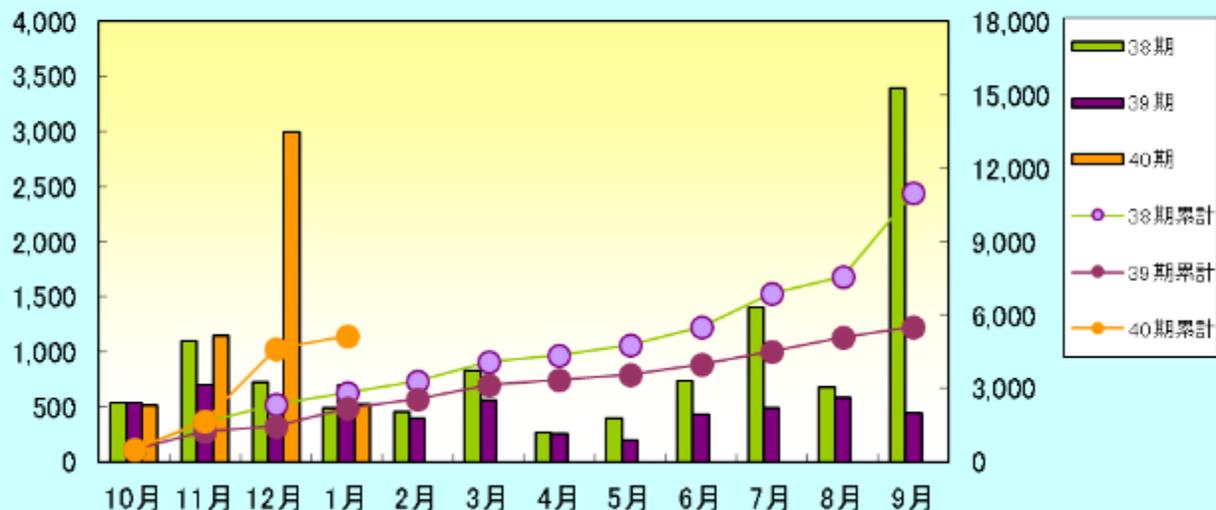
電力使用量(SSD/関西営業所)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

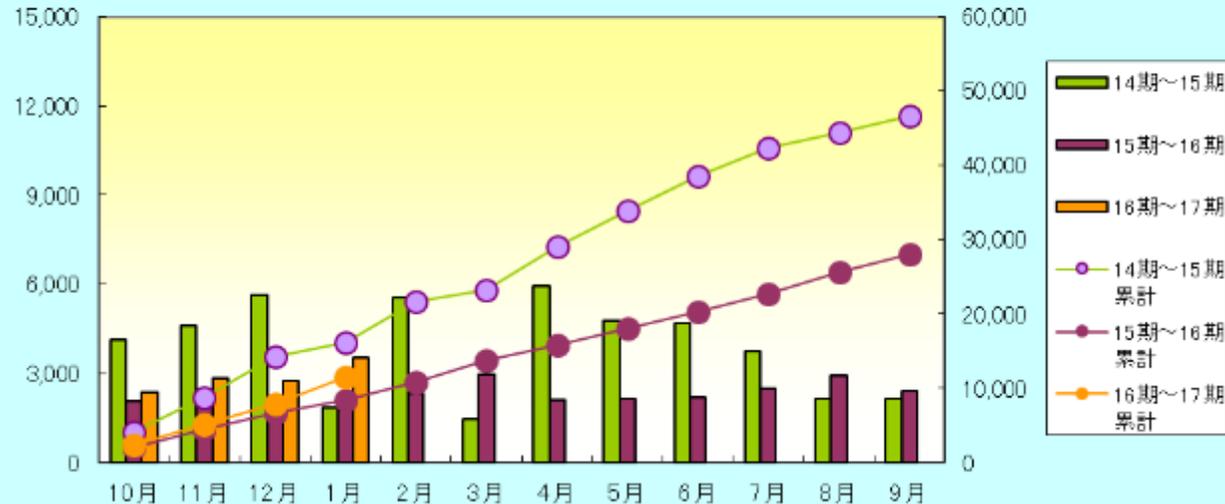
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

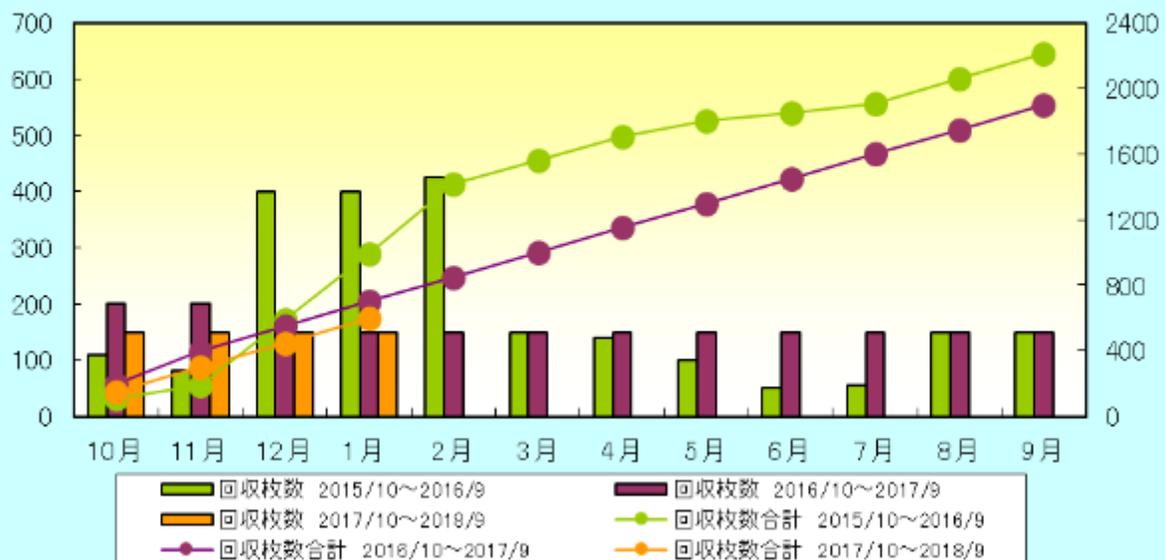
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

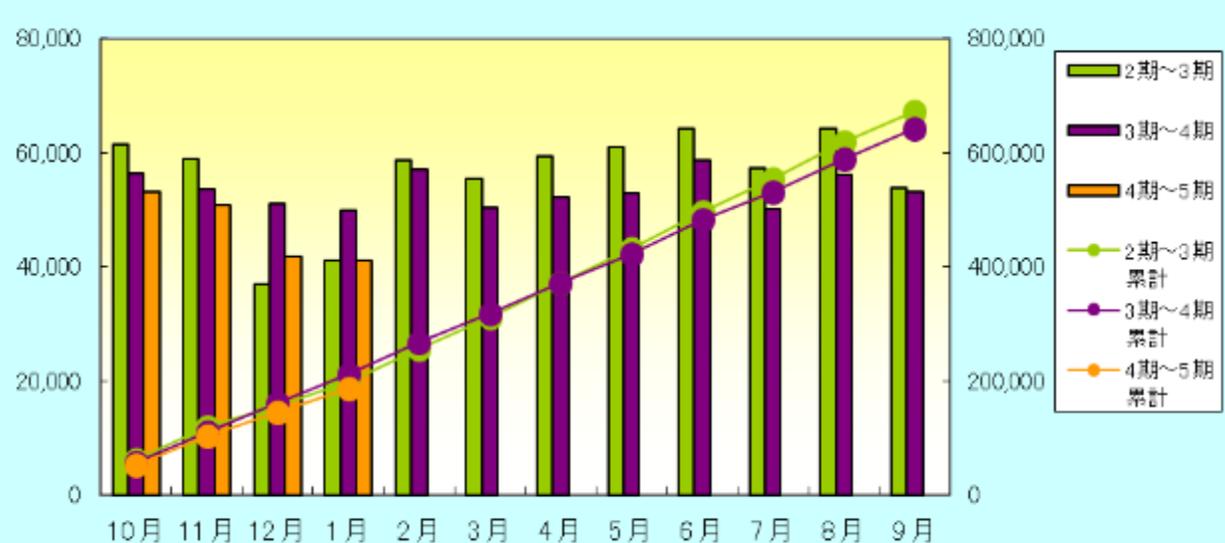
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



CSR Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

活動報告

- ①TOPICS
- ②地域貢献活動
- ③ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ④人財育成への取り組み

TOPICS

●本年も「健康経営優良法人2018（中小規模法人部門）」の認定を取得しました！

サンシン電気（株）は、「従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する“健康経営”の取組が優良である」と認められ、2018年2月20日に、経済産業省及び日本健康会議（*1）より、『健康経営優良法人2018（中小規模法人部門）』の認定を、昨年に続き2年連続で受けました。

今回の認定では、全国で776社、うち東京からは52社が認定されました。

サンシン電気は、2016年10月に「健康企業宣言」をスタートし、2017年5月に全国健康保険協会東京支部より「銀の認定証」を取得、同年11月に東京都より「平成29年度東京都スポーツ推進企業」の認定を、また同年12月にはスポーツ庁より「平成29年度スポーツエールカンパニー」の認定を取得し、その後も継続して社員の健康が健康経営に繋がるものと捉え、ヘルスリテラシーの向上、ワーク・ライフ・バランスの向上、生産性の向上を推進して参りました。今回の認定は、昨年に引き続き、これまでの全社挙げての活動が認められたものです。

「健康経営優良法人（中小規模部門）」の認定は、「銀の認定証」等同様、年度ごとの申請・更新が必要です。一度取得すればそれでよい、というものではありません。社員一人ひとりが自主的に健康管理をし、継続してヘルスリテラシーの向上に努め、心身ともにワーク・ライフ・バランスの充実を図っていくことが大切です。

* 1 日本健康会議：少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体です。経済団体、医療団体、保険者などの民間組織や自治体が連携し、職場、地域で具体的な対応策を実現していくことを目的としています。（経済産業省HPより）



TOPICS

□ セラピードッグ訓練会の定期開催が始まりました（SFS）

株式会社シグマフードサービスではワインや日本酒、各種心理療法の提供だけでなく、動物取扱業（訓練）事業も行っています。2018年2月からは、月1回のペースでセラピードッグの訓練会を開催しています。当社の活動に参加するだけでなく、受講生が将来地元で活躍できるよう、指導・サポートを行っています。現在は秋田犬とダックスの訓練生が、認定に向けて頑張っています。次回開催は3月31日（土）です。見学は無料、愛犬同伴の訓練参加は有料になります。

犬はいないけれどハンドリングを勉強したい、という方は、ハンドラーとして勉強していただくことも可能です。春は新しいチャレンジに最適な季節です。ご興味あるかたは、unagisuplex@gmail.com までお問い合わせください。



地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（2月参加人数：延べ11名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（シグマ・フード・サービス）
- 動物介在ボランティア活動実施（シグマ・フード・サービス）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：ひな祭り飾り、桜（3月）

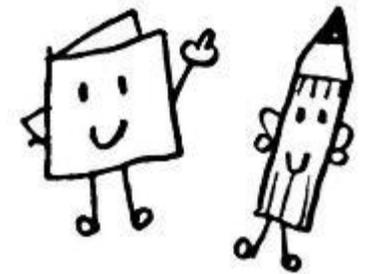


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養してる社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月1回、マッサージ・リフレクソロジーサービスを実施（女性を中心に毎月10名参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2017年5月）
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2018（中小規模法人部門）」の認定取得（2018年2月）⇒2年連続！
- 東京都より「平成29年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「平成29年度スポーツエールカンパニー」の認定取得（2017年11月・12月）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・英会話・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAを全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能



編集
後記

Sales CENTRE Y.Y.

日本では、旧暦3月を弥生（やよい）と呼び、現在でも新暦3月の別名としても用いています。弥生の由来は、草木がいよいよ生い茂る月「木草弥や生ひ月（きくさいやおひづき）」が詰まって「やよひ」となったという説が有力です。暖かくなってきてタラの芽やうこぎ、行者にんにくなどの山菜やアスパラ菜などの菜花類やからし菜や春キャベツなど野菜の種類が一気に増える季節です。『旬の野菜を食べよう』と言いますが、その理由は野菜が最も成熟した頃合いであり、味も栄養価も一番良くなる時期だからです。おいしい旬の野菜をたくさん食べて、毎日を健康に過ごしましょう。